

研修修了者の声

「ビジネスと人権」研修を受講して

根本 啓明 (東京会)

人権DDという言葉は見聞きしていましたが、今回、初めて人権についてじっくりと考え、議論する機会をいただいたと感じます。会社勤め時代は、お客様の権利擁護に関しては敏感でした。しかし、働く人や取引企業における人権については特に意識を向けていませんでした。国内企業の多くは、労働基準法を遵守しコンプライアンスを徹底することで足りると考えています。今回の受講で、まず、国際労働基準を知ることの重要性を認識しました。そして、トップの意思決定の下、人事部門



のみならず、調達部門、労働組合など、社内の多くの人たちを巻き込んで、自社及びサプライチェーン全体における人権について認識する必要性があることを理解しました。

グループワーク中心の研修では、社労士としての立場のほか、社長や調達担当、労働者代表などの役割を演じてみることで、それぞれの立場・視点で考えることができました。講義型の研修とは異なり、「何を学んだか」だけでなくロールプレイを通じて「いかに学んだか」が体感でき、「ビジネスと人権」について多角的な視点で考え理解するきっかけとなりました。

時間的・場所的に対面研修への参加が叶わなかった多くの方々には、eラーニングの受講をお勧めします。